

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 若山学園橋保護護岸整備事業
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	1	総合防災体制の整備
小分類	3	治山・治水対策の推進
主要な施策	2	治水事業の推進
事務事業番号	008	事務事業コード 23132008 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	若山学園橋保護護岸整備事業
------	------	------------	---------------

部 名	都市整備部	グループ名	土木G
-----	-------	-------	-----

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 通行者の安全を確保するため、市道に架かる橋梁の維持管理補修を行う。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 連節ブロック設置 86㎡(全体) 既設ブロック設置替 48㎡ 新設ブロック設置 38㎡
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 保護護岸の連節ブロックを補修することにより、通行者の安心・安全を確保する。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> 道路法

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	連節ブロック補修面積	㎡	目標値	86				
			実績値	86				
				目標値				
				実績値				

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称 地域活性化・きめ細かな臨時交付金	千円	2,352					0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円						0
合 計			2,352	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,341	0			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,341	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
道路施設の維持管理であることと、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
通行者の安心・安全を確保されていると考えられる。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？
平成22年度に事業終了。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？
平成22年度に事業終了。			

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成22年度に予定していた維持補修が全て終了し、通行者の安心・安全が確保された。
------------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）